

平成21年度 第2回地域包括支援センター専門委員会 会議要旨

1 開催日時

平成21年11月18日(水) 18:30~20:00

2 開催場所

北九州市役所 91会議室

3 出席者等

(1) 委員

中村委員長、今村委員、河原委員、白木委員、渡邊委員
欠席者 小川委員、小金丸委員、橋元委員、舟谷委員

(2) 事務局

いのちをつなぐネットワーク推進課長、介護保険課長ほか

4 会議内容

(1) 議題

- ア 地域包括支援センターの外部評価(第三者評価)のあり方について
- イ その他

5 議事の概要

(1) 議題

- ア 地域包括支援センターの外部評価(第三者評価)のあり方について
地域包括支援センターの成果として、平成18~21年度までの相談件数や予防給付ケアプラン作成状況等の運営状況について、事務局より説明を受けた。また、外部評価のあり方を検討する前提として、現状の課題について共通認識を持つため、職員体制や業務量について、事務局より説明を受け、意見交換を行った。

【発言趣旨】

- 委員：包括の業務マネジメントは誰が行っているのか。
- 事務局：区役所生活支援課長及び統括保健師係長がマネジメントを行っているが、勤務場所が離れているため、行き届かない点もある。
- 委員：各センターは、多くの業務をがんばってやっている。その点をもっと評価すべきではないか。そのためには、出向元団体や職能団体もセンター職員をサポートしなければならない。
- 委員：地域に24ヶ所あるのは結構だが、各職種1名の体制では、職種毎の相談・検討ができないと思われる。包括の数を減らし、1所あたりの人員を増やすことも検討したほうがよい。
- 委員：各職種複数名体制のほうが連携が図れるのではないかと。次期計画に向けて検討してほしい。
- 事務局：次期計画に向けて検討していきたい。

委員：今年度は相談件数が減少しているが、要因はなにか。

事務局：検証できていない。

委員長：統括の相談件数が増加してきている。問題は生じていないのか。

委員：統括は区役所の中に配置しているので、市民にとっては使い勝手がよい。

委員：予防給付ケアマネジャーに対する研修体制やスーパーバイズはどうなっているのか。

委員：介護支援専門員協会でバックアップしてはどうか。担当件数は、予防としては妥当だと思う。

事務局：現在、予防給付ケアマネジャーのケアプランチェックの方法については、各区代表者によって検討している。

委員：直営の包括の問題として、土日の窓口対応がある。

委員：他都市の委託している包括の土日の体制はどうなっているのか。

事務局：受託している法人の当直職員等が対応していると聞いている。本市でも必要があれば土日出勤し、振替で休暇を取得するようにしている。

イ その他

外部評価（第三者評価）の検討資料として、各政令市における評価の取り組みについて、事務局より説明を受けた。